

名の仕方は、いつでもやるのではなく、普通の指名発言と組み合わせることが大事です。

その2：〇〇大会

学習のまとめを行うとき、〇〇大会を仕組むとおもしろいです。例えば、6年社会科の場合には歴史クイズ大会、という具合です。問題は教師がつくってもいいですが、子どもたちがつくったものを出し合わせる方が盛り上がるかもしれませんね。

その3：漢字フェスティバル

漢字の学習の場合は、このフェスティバルがおすすめです。学級をいくつかのグループに分けます。グループから一人ずつ代表を出させて漢字の学習を行うのです。問題の中にはレベルの低いものから高いものまでを織り交ぜておきます。ただし、漢字に強いコンプレックスを感じている子どももいますので、相談タイムを入れるなど、グループで協力し合うシステムを取り入れるとよいと思います。

2 第11回希望の会in山口，山口学級活動ネットワーク冬の学習会報告 その8

冬の学習会，午後の部で行った「参加者が語り合う」ワークショップについて，続けて報告いたします。

今回は，実践課題の（10）～（12）を紹介します。話し合ったことをまとめたものは，山口学級活動ネットワークのホームページもしくは，希望の会のホームページに掲載していますので，そちらをご覧ください。

実践上の課題（10）

「よりよい生活づくり」というものが，学級活動の改善のポイントとしてあげられました。そこで，「よりよい生活づくりをめざす集会活動」では，どのような指導のポイントが考えられるでしょう。集団の発達段階に即して考えてみてください。

集会活動は，どうしても「遊んでいるだけ」というふうに見られがちです。そうならないために「よりよい生活づくり」をめざすということを意識させることが大切だということで話合いがすすみました。そして，低・中・高学年と段階を追って実態をしっかりと把握すること，「教師からの提案」からスタートして，自分たちの経験を生かし，信頼し支え合って創造していくことにつないでいくことが大切であるということが見えてきたようです。

実践上の課題（11）

社会的スキルについて，「望ましい人間関係の形成の指導として，社会的スキルを身に付けるための活動を効果的に取り入れることも考えられる。その際，学級活動の指

導の特質を踏まえた指導の展開となるようにするとともに、時間の配分に留意して適切な授業時数を充てるようにし、児童が現実の生活の中で自主的、実践的に望ましい人間関係を築こうとすることができるように配慮する必要がある（改善の具体的事項）」と示されました。社会的スキルを身に付けるための活動を取り入れるポイントはどのようなものがあるでしょうか。

社会的スキルを身に付けさせるために、様々な手法が考え出され、取り組まれています。しかしながら、その取組さえやっておけばよいという誤った考えが普及しているのも事実です。そこで、ここでの話し合いでは、「教師の指導性」の問題や取り組み方として「ショート活動を活用する」こと、そして「子どもたちの自己指導能力を育てる指導過程をいかに重視して仕組んでいくか」が大切であることがたくさん出されたようです。

実践上の課題（12）

自然の中での長期にわたる集団宿泊学習が重視されるようになりました。その長期にわたる集団宿泊学習を成功させるのは、どのような工夫が考えられるでしょうか。

長期にわたる集団宿泊学習が重視されることになりました。そこで、ここではその取組を成功させるためにどういう工夫をしたらよいかを話し合ってもらいました。そのためには、教師のねらいをはっきりさせ、集団活動をとおして「集団の質」や「公共心」、「他者への思いやりの心」などを高める活動を仕組むとともに、体験を通して気付いたことをまとめるなどの「言語」能力を高める活動へチェンジさせていくことが大切ではないかということが見えてきました。

新学習指導要領における特別活動の課題から12を選んで話し合ってもらった結果です。ここにあげられたことが、そのまま答えになるわけではありませんが、何らかのヒントになることは間違いないと思います。

今年から本格実施に入った特別活動ですが、どのような取組をされているのか情報交換しませんか？

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第79号は6月下旬ごろ発行予定です。

次号も、第一特集は「元気が出る学級づくり」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は243名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいます。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====
山口学級活動ネットワーク メールマガジン
☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで
☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部
梶田崇晴（下関市立名池小） 津村元文（美祢市立伊佐小）
吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小） 西田智行（下関市立垢田小）
=====